

学生と後継者不足に悩む伝統工芸職人を繋ぎ、マッチング機会を創出 就業体験と職人の収益増を実現した、新たな支援型カタログギフト ANAグループ運営の「WA+YO」×「ニッポン手仕事図鑑」 未来の後継者支援プロジェクトを12月から開始

ANAホールディングスの出資を受ける株式会社ACD(東京都江東区、代表取締役：古居弘道)は、当社が運営する日本の伝統工芸を取り扱うECサイト「WA+YO」にて、購入することで伝統工芸の職人を目指す候補学生が、現地で“学び・体験できる”後継者支援に繋がるオリジナルカタログギフトの販売を、株式会社ニッポン手仕事図鑑と共同で開始しました。



「後継者が見つからない、就職先が見つからない」 職人の後継者問題に、学生と生産者のマッチング機会を創出

日本の多種多様な伝統工芸分野では、全国各地で高齢化や後継者不足が深刻な問題となっています。全国の工房や産地からは「後継者が見つからない、探し方が分からない」と悩む声がある一方で、伝統工芸を学べる全国約70の大学・専門学校でも「就職先が見つからない、少ない」と職人の道を諦める若者が少なくありません。毎年卒業生が輩出されているにも関わらずこのような状況にある背景には、**求人情報が学生に届いていないこと、工房のある土地に移住するイメージや勇気が持てず断念してしまうこと**等が挙げられます。

本プロジェクトでは、伝統工芸の道を志す学生に実際の作業やその土地での暮らしを体験してもらい、職人とのマッチングの機会を創出、将来的な移住定住や伝統の継承に繋がります。

詳細URL：https://wayocraft.com/content_ja_JPY_58.html

学生が抱える悩み

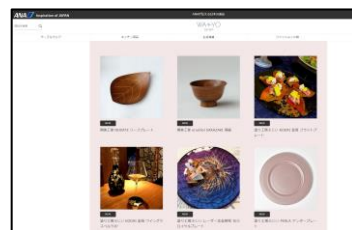
- 工房の就職案内が来ない
- 工房の採用情報が少ない

職人が抱える悩み

- 若い人材の不足
- 後継者の探し方がわからない

カタログギフトを通じて、後継者候補の就業体験と伝統工芸職人の収益増に繋げる

WA+YOとは「和の様式」。近代化の波の中で衰退する和の様式、息吹を世界中に伝え次の世代への橋渡しをすることをミッションにするECサイト。日本の伝統工芸の世界で革新を続ける作家、アーティストのストーリーや作品の紹介と、日常によりそった和食器や生活雑貨をお届けしています。ACDグループが作品の選定から仕入れ、販売、発送まで含め一貫してサイト運営をしています。

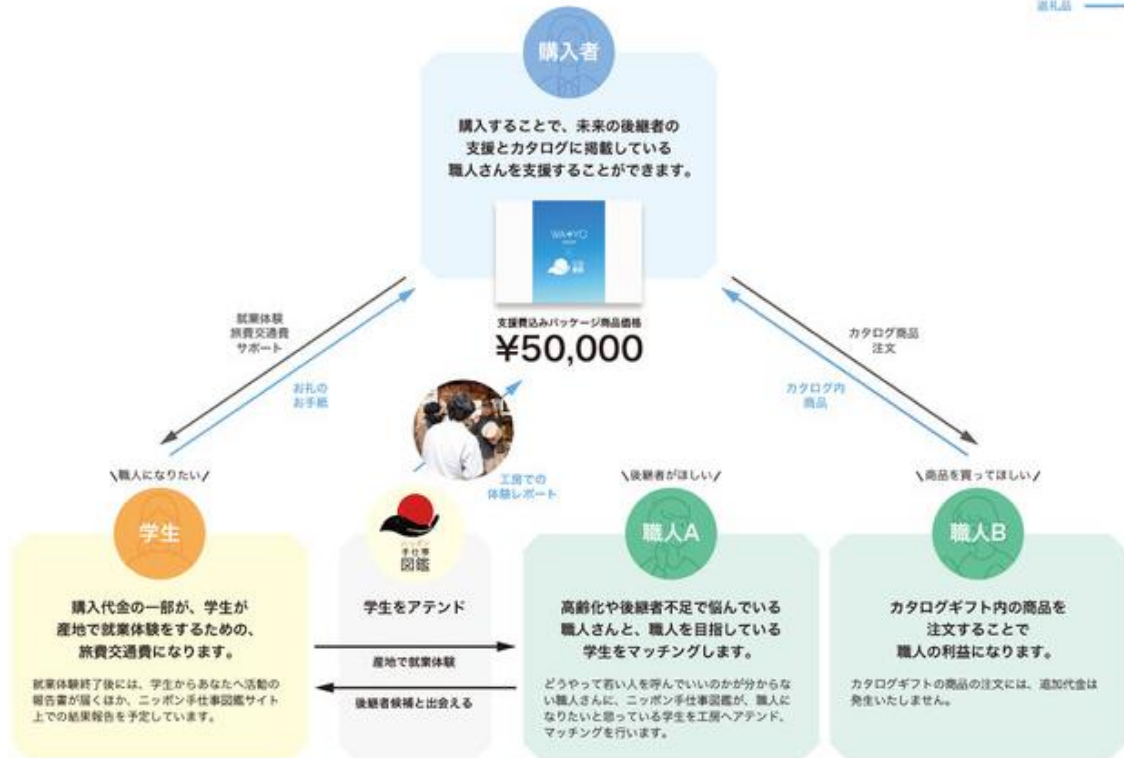


未来の後継者プロジェクトでは、伝統工芸の商品が集まったオリジナルカタログギフトを購入いただくことで、購入代金の一部が、学生が産地で就業体験するための旅費交通費となります。**カタログギフト1つにつき、学生1名を産地に連れて行くことができます。**また、カタログ内の商品が注文されることで、別の職人の収益にも繋がる、**学生と伝統工芸の双方を支援する新たなカタログギフト**となります。



未来の後継者支援プロジェクトの仕組み

返礼品



産地では、ニッポン手仕事図鑑のメンバーが学生をアテンド、実際の生産者の職場で就業体験を行います。各工房で伝統工芸の技術や想いに触れるだけでなく、先輩移住者や自治体の方との交流の場を設け、“仕事”だけでなく“移住”への具体的なイメージを持つことで学生の不安を解消していきます。昨年、長野県で実施されたインターンシップツアーでは、全国から集まった美術や工芸を学ぶ学生の中から、1人が漆工職人として木曾漆器の工房で4月から働くことが決定し現在も就業しています。



商品概要

「WA+YO × 手仕事図鑑 未来の後継者支援プロジェクト デジタルカタログギフト」

・価格：¥50,000（税込み）

・獲得マイル：500

（※WA+YOではマイレージサービスを活用し、マイルを使う・貯めることができます。）



購入者には、感謝の気持ちを込めて返礼品が贈られます。

- ・学生からのお手紙
- ・学生の工房での体験レポート
- ・カタログ内に掲載されている職人の工芸品一品



学生からのお手紙



ニッポン手仕事図鑑がアテンドした学生の工房での体験レポート



カタログ内に掲載されているニッポンの職人の一品

今後の展望

WA+YOでは、人間国宝に認定された作家による木工藝や刀剣界最高賞を受賞した巨匠による日本刀など、日本が誇る希少価値の高い逸品を、職人のこれまでのストーリーと合わせて紹介しています。

「価値ある日本の情報と商品を世界に届ける」というミッションの下、越境EC事業を展開するACDの強みやIT・海外マーケットの知見を活かし、今後は海外から人気のあるアニメやゲーム分野とのコラボを通じて、日本の伝統工芸分野の普及・発信を進めてまいります。

掲載商品の例

華正時絵ガラス フリーグラス（富士）

石川県加賀市

サイズ：直径8cm×高さ7.2cm
容量：140ml

熟練した職人の手によって丹精込めて作られた上質のガラスに、天然漆を使った手描き時絵と金沢金箔を組み合わせた新技術が施されています。



木曾漆器 KOKUTAN カトラリー（M）

長野県塩尻市

長さ：約13.5cm



長野県塩尻市南部の山岳地帯にある、木曾平沢。木曾漆器の中心の産地として知られるこの地で、「山加荻村漆器店」は、祖父が興した会社を守る経営者のもと、師匠から弟子へものづくりの姿勢が受け継がれています。

寄せ木ボールペン 2種ペア

神奈川県横浜市

長さ：約13.2cm
持ち手幅：約1.1cm



コンセプトは「0から1を」。家具屋や材木屋から譲り受けた端材を、新しいカタチに仕上げていくのは、木工職人の西村真人さんです。現在ではオーダーメイド商品の開発からワークショップの開催まで、さまざまなオファーが相次いでいます。

ガラス工房ほのお

京都市左京区

持ち手幅：約1~1.1cm
長さ：約15.1cm



ガラスペンは、1902年に日本で発明されました。滑らかな書き心地、インク持ちの良さ、工芸品としての美しさを持ち合わせており、海外でも人気を集めています。



『ニッポン手仕事図鑑』について

ニッポン手仕事図鑑は、「ニッポンの手仕事を、残していく」をコンセプトに2015年1月にリリースされた、日本が誇る職人の手仕事、地方の文化や伝統工芸を、映像で紹介している動画メディアです。6年間の活動の中で、約80本の伝統工芸・職人の映像を制作。多くの産地・自治体とのつながりの中から、後継者育成インターンシップツアーや伝統工芸品の新商品開発、フリーペーパー制作など、様々な視点から産地・工房と二人三脚で手仕事の魅力発信に取り組んでおります。

2020年11月には、日本各地の手仕事職人ふたりが語り合うライブ配信番組『Bar KO-BO』をスタートしました。URL：<https://nippon-teshigoto.jp>

会社概要

「価値ある日本の情報と商品を世界に届ける」というミッションの下、ACDは革命的なソリューションによる越境EC事業の他、ミニプログラムによるOMO事業を展開しています。サイトの多言語化と多通貨対応、多彩な決済方法の選択、物流・発送フローの確立、ミニプログラムの開発支援といった、越境ECにおける包括的なサービスの提供と丁寧なサポート体制により、多種多様な企業のビジネス展開を支援しています。

■社名：株式会社 ACD（ACD Inc.）

■代表：古居 弘道

■所在地：東京都江東区辰巳3-9-27 東京スカイゲート7階

■設立日：2016年3月1日

■事業内容：越境ECサイトプラットフォームの運営、
国際物流システムに関するサービスプラットフォームの運営

■URL：<https://www.a-cd.co.jp/>

◇ 本件に関するお問い合わせ先 ◇

ACD広報事務局 担当：加藤、細井、伊東

TEL：03-6261-7413 FAX：03-6701-7543 Mail：info@kmcpr.co.jp